

市民にメリットなし!

地下鉄「廃止条例」案 は否決を!

地下鉄は1日**1**億円の
黒字を生み出す超優良企業

2-3月大阪市会は、地下鉄・市バスの「廃止条例」案や大阪市を解体する「住民投票」を再びめざす「法定協議会設置議案」が議論されます。また、24区を8区に合区する「総合区」案も発表されるなど、市民にとって目が離せません。

市営のまま

1500億円の資金で 安全・安心対策の充実へ!

乗客の安全・安心を守り、市民の足としてサービス向上が求められます。地下鉄の黒字を使えば、津波・浸水などの防災対策、転落防止柵の設置、そして市バスへの支援再開で便利な市バスが実現できます。

退職金(1040億円)支出、 運転資金が枯れます!

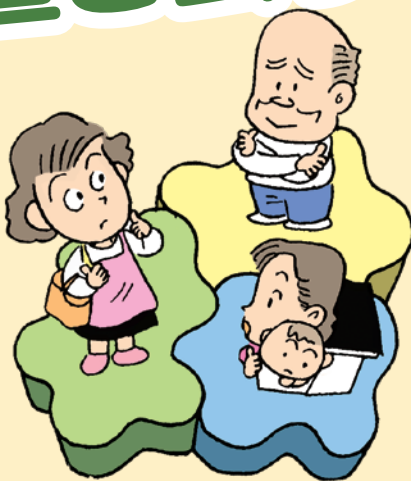
地下鉄が保有する現金・貯金は1,562億円(2017年度末・見込)もありますが、職員の退職金1,040億円などを支払うと「民営化」後の運転資金が70億円しか残りません。これでは防災や安全対策に手が回りません。

民営化「Jorou」

「都構想」 「特別区」 「合区」 上からの制度いじり、 市民生活は置き去り

昨年8月から全行政区で開催された「総合区・特別区」の住民説明会は、募集定員の28%の参加しかなく低調でした。

市民のくらしがホンマに大変なときです。上から目線の制度いじりではなく、市民の生活を応援する市政こそが求められています。



「結局、大阪市を潰すのか」

「総合区」や「特別区」など、制度の説明は難解で理解はすすんでいません。「合区」への市民の合意はなく、拙速な「合区」案は市民を混乱させるだけです。

説明会に参加した市民からは「結局、大阪市を潰すということか」との感想が…。

税金のムダづかいです! 9億円も税金がかかった 「住民投票」

9億円を費やした「住民投票」に再挑戦?! 「特別区」案を議論する「法定協議会」の設置議案が出されます。維新による“勝つまでジャンケン”を許さず、設置議案は否決すべきです。

住吉市民病院の存続を、現地建て替えを!

大阪市は「住吉市民病院(住之江区)は二重行政の無駄」(橋下前市長2011年)の一言で廃止を決定。その跡地に誘致される南港病院が2018年4月から209床の新病院を開院する予定でしたが、昨年12月に突然、設計上のミスで開院を2年延長すると発表し、市民から大きな怒りの声があがっています。

市民にとっては、医療空白が生まれ、「民間病院」に

補助金4億8千万円、無利子・無担保の貸付金7億円の税金を投入するなど、デメリットが明らかです。

住吉市民病院が担ってきた、重度心身障がい児の支援や未受診妊婦の受け入れ、経済的困難を抱えた市民への助産制度の利用など、かけがえのない医療がなくなってしまう。存続と現地建て替えこそが市民のために必要です。

